

松戸市立総合医療センター後期臨床研修プログラム（外科）

1. 研修対象者

初期研修終了者で外科の研修を希望するもの

2. 研修期間

研修期間は原則3年間とする。各年度末に研修評価を行い、次年度研修を受けるか否か相談・検討します。

3. 研修カリキュラム

研修内容

(1) 診断技術の向上

- ① 理学的所見の把握と病歴の記載
- ② 血液、生化学検査値の評価、解釈
- ③ 画像検査、造影検査の実施と読影
- ④ 外来・病棟での診察法の習得

(2) 治療方針の決定

- ① 手術適応の判断と手術術式の検討
- ② 患者、患者家族のインフォームドコンセントを得る

(3) 手術手技の向上

- ① 各種手術の経験
- ② 手術手技の向上

(4) 術前、術後管理

- ① 術前評価と術前合併症に対する処置
- ② 術前・術後管理

(5) 術後合併症に対する対策

- ① 術後感染症への対策
- ② 循環器系合併症、呼吸器系合併症、消化器系合併症、その他、各種合併症に対する処置

(6) 悪性腫瘍に対する化学療法の習得

- ① 手術の結果(病理結果)に基づいた抗癌剤の適応と投与方法
- ② 抗癌剤の副作用に対する処置

(7) 患者及び患者の家族との信頼関係の確立

① 患者及び患者の家族とのコミュニケーションの方法、接し方。インフォームドコンセントの実施

② 末期癌患者の治療と接し方。患者家族との接し方

(8) 社会復帰

- ① 退院後の治療計画と生活指導(QOLの改善を目指す)
- ② 臨床診断、病理診断に基づく予後判定、外来治療方法の検討

(9) 病診連携

(10) 教育に関する行事に参加

- ① 術前、術後カンファレンス
- ② 外科・消化器内科・病理症例カンファレンス、乳腺疾患カンファレンス
- ③ 抄読会

④各種研究会における発表

4. 研修システムの特徴

診療・検査・手術・術前術後管理・学会発表などを通して外科医として必要な基本的技術・知識の習得を目的とする。当院は日本外科学会の外科専門医制度修練施設であり、研修終了時までには外科学会専門医の申請資格(卒後5年間で350例の手術経験・うち術者120例)を得るのに十分な症例を経験可能です。

5. 指導スタッフの概要

日本外科学会指導医4名

6. 研修終了後の進路

研修終了後の進路は研修医と相談し支援します。ただ、そのまま当院常勤医として就職するよりも、他院での研修経験も重要であり、必要だと考えています。